

統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日： 平成 21 年 9 月 18 日

氏名： 林 為人

所属 (職名)： 独立行政法人海洋研究開発機構 高知コア研究所 サブリーダー

会議名	9 th IODP Scientific Technology Panel Meeting
期間 (移動を含む)	平成 20 年 8 月 17 日 ~ 平成 20 年 8 月 19 日
用務地 (国・都市)	韓国・済州島
目的	9 th IODP Scientific Technology Panel Meeting に参加し、今後の IODP における科学計測について議論する
会議内容及び報告事項 日本からの出席者 (STP 委員) 斎藤 実篤 (海洋研究開発機構)、山中 寿朗 (岡山大学、池原 実委員の代理として)、成瀬 元 (千葉大学)、諸野 祐樹 (海洋研究開発機構)、林 為人 (海洋研究開発機構) (リエゾン) 河村 裕 (IODP-MI)、Jim Mori (SPC, 京都大学)、浅沼 宏 (EDP, 東北大学)、阿波根 直一 (CDEX)、五十嵐 智秋 (CDEX)、藤木 徹 (マリンワークジャパン) 【会議内容】 事前に配布されたアジェンダに従い議事が進行し、全体での議論の他、分科会に分かれた議論を行った。退任委員及び開催地ホストへの感謝を含む、以下に示す 19 Consensus statements、1 Recommendation と 11 Action items を決議した。以下に決議とその概要を列記する。詳細については、STP Minutes を参照していただきたい。 STP Consensus Statement 0908-01: EDP Report and White Paper and STP input EDP Co-Chair 浅沼氏から EDP の INVEST 会議向けの White Paper を示されたことに対して感謝の意を表するとともに、STP は EDP に feedback をし、INVEST 会議に EDP と連携してポスター発表を行うこととした。 STP Consensus Statement 0908-02: Preservation of Cuttings from Riser Sites STP はライザー掘削のカットング試料の保管について検討し、洗浄と未洗浄カットング試料の両方ともアーカイブとワーキングに分けて保管し、また、サンプリングインターバルは 5m あるいはそれ以下にすべく推奨する。 STP Consensus Statement 0908-03: Magnetic Susceptibility Sonde (MSS) USIO に対し、Exp320 における Magnetic Susceptibility Tool の実施状況の報告に謝意を示し、その有用性を認め、代替機の導入にサポートする。 STP Consensus Statement 0908-04: Expedition QA/QC Reporting STP consensus statements 0903-14 and 0807-04 に引き続き、Expedition QA/QC レポートは少なくとも以下の内容を含むものとする。 ・ QA/QC が十分に達成できない“問題”のあった計測 ・ Third Party ツールのキャリブレーションデータ ・ 基準化が困難、あるいはリファレンスマテリアルがない計測 ・ 使用したリファレンスマテリアルのリストを提示する	

STP Consensus Statement 0908-05: Approval of Expedition Measurement Plans

STPは各IOsにより提示されたExpedition Measurement Plans for Shatsky Rise (324), Canterbury Basin (317), Wilkes Land (318), NanTroSEIZE Stage 2 (322), and Great Barrier Reef (325)を承認した。

STP Consensus Statement 0908-06: Reservation of platform time for nonexpedition-specific purposes

STPは、SPCのガイドラインの変更内容である“2ヶ月ごとに3日間の時間をエンジニアリング等のExpeditionの直接目的以外の使用に自動的に割り当てる”を支持する。

STP Consensus Statement 0908-07: Field Testing of the Riserless Mud Recovery System

STPは新規大水深と大深度掘削技術としてRiserless Mud Recovery System (RMR)の有望性を認め、IODP掘削船を使用したフィールドテストの計画が提案されれば、それにサポートする用意がある。

STP Consensus Statement 0908-08: IODP-MI Efforts to Integrate Engineering Activities

STPはIODP-MIの各種異なる予算による開発プロジェクト等のエンジニアリング活動を統合する努力を是認する。

STP Recommendation 0908-09: STP Recommendations for Routine Microbiological Sampling on IODP Expeditions.

STPは微生物学が主要科学目的である場合を含むIODP掘削航海において、試料を将来の微生物学的分析に適う形で保管するために取る推奨アプローチを示す。さらにサンプリング、保管、掘削目的に微生物保管試料を含めることを概察するため、微生物学者がそれぞれの掘削航海のScience partyの一員として参加することを推奨する。

STP Consensus Statement 0908-10: EDP Liaison and Microbiology Contamination Issues.

STPの委員交代に伴い、EDP Microbiology Contamination Working GroupのSTP電子リエゾンにRick ColwellからYuki Moronoに変更する。同時に、STPは同ワーキンググループにライザーとライザーレス掘削コアの泥水コンタミネーションを低減する対策を検討するよう求める。

STP Consensus Statement 0908-11: JOIDES Resolution Microbiology Contamination Issues

STPはJRのマイクロバイオ関係の船上設備とスペース割り当ての改善に対して謝意を表す。STPは表面汚染の除去について、一般的な微生物ラボで通常行われているような方法(日常的な表面汚染除去剤の使用、必要な個所でのUVランプの使用、クリーンベンチ中における定期的な空中汚染状況のチェック)を実施することを推奨する。

STP Consensus Statement 0908-12: Depth Scale Terminology Update

Depth Scale Terminology document V 1.1の作成に、STPは敬意と感謝の意を表するとともに、それがサイエンスコミュニティに対して価値があることを認める。さらに、STPはIODP-MIにError and Corrections v.1.1 documentの着手とDepth Scale Terminology document V 1.1との統合をするよう提案する。また、異なる方法等のダイヤグラムや明確な説明を追加するよう提案する。STPはこの作業が早急に行われるべく思う。

STP Consensus Statement 0908-13: Support for the SEDIS project

STPはJamus CollierのSEDISプロジェクトに関するプレゼンに感謝するとともに、IODPデータ保管の重要性を承知し、SEDIS Phase IIIの開発に支持する。また、パネルメンバーはIODPフェーズ1のデータをIODP2013以降に確実に引き継がれる重要性を指摘した。

STP Consensus Statement 0908-14: Sean Higgins

STPはIODPから離れた氏に対して感謝する。

STP Consensus Statement 0908-15: Tom Janacek

STPはIODPから離れた氏に対して感謝し、カムバックを期待する。

STP Consensus Statement 0908-16: Peter Blum

STP に対する長年の貢献を感謝し、氏が IODP で引き続き成功することを祈る。

STP Consensus Statement 0908-17: Youn-Soo Lee

STP は今回の Jeju 会議のホストであり、また、今回限りで退任する氏に謝意を表す。

STP Consensus Statement 0908-18: Rick Colwell

STP は今回の会議限りで退任する氏に感謝の意を表す。

STP Consensus Statement 0908-19: Paul Johnson

STP は今回の会議限りで退任する氏に感謝の意を表す。

STP Consensus Statement 0908-20: Minoru Ikehara

STP は今回の会議限りで退任する氏に感謝の意を表す。

STP Action Item 0908-21: Smear Slide Reference Materials.

STP は IODP-MI に対して、スミアスライドの物質リファレンスのミニマムセットとデジタルリファレンスの提供できる可能性を調べるよう要求する。

STP Action Item 0908-22: Portable version of DescLogik for STP testing.

STP 委員は US10 に対し Desclogik システムについてより詳細な助言を行うため、ポータブル版 (ノート PC など) のテストを行うことを求める。

STP Action Item 0908-23: Test data from the Impedance Analyzer and Laser Ablation ICP-MS

Formation factor 測定の検討のために、CDEX のインピーダンスアナライザーおよび Laser Ablation ICP-MS のテストデータの提示を求める。

STP Action Item 0908-24: Formation Factor measurement on MSPs

MSPs における Formation factor 測定の可能性について報告するよう EOS に求める。

STP Action Item 0908-25: Required Metadata for Digital Images

IODP-MI が SEDIS におけるデジタルイメージ統合用のメタデータを各 10s に提供すべきと考えられる。

STP Action Item 0908-26: EDP White Paper input.

STP Consensus Statement 0908-01 に関連して、STP は EDP White Paper に対して、コメント等をインプットする。

STP Action Item 0908-27: Taxonomic Name Lists.

STP は IODP-MI に対して、次回 STP 会議にて Taxonomic Name List の準備状況およびデータベースへの組み込みについて報告するよう求める。

STP Action Item 0908-28: Core recovery and quality report to EDP

EDP のリクエストに基づいて、STP はフォーマルな Core Recovery and Core Quality レポートを提出する。

STP Action Item 0908-29: Use of cores after freezing using the “magnetic technique”.

食品工業分野で用いられている新しい技術を使って冷凍したコア試料の使用について、微生物学的な利用に加え、他の分野での利用可能性について STP 委員が Chair に助言することを求める。

STP Action Item 0908-30: Measurements of Formation Factor or sediment resistivity in Exp 323 and 322.

David Houpt と Toru Fujiki の Expedition 323 と 322 における Formation factor or Resistivity 測定の実施計画報告を感謝し、Formation factor 測定方法検討の参考資料とするため、その初歩的結果の開示を関係者に要請する。

STP Action Item 0908-31: Discussion on Formation Factor Determination

STPIはShinichi Takakura, Xinglin Lei, J. Carlos Santamarina and Weiren LinのインプットとSteve D Hondtの速やかな回答に感謝する。STPIはFormation factorの測定方法ならびにQA/QCに関する検討を継続する。

次回会議の開催

2010年3月オーストラリアのシドニーで開催されることを仮決定した。また、次々回はドイツで開催されることが内定した。

備考	
----	--

事務局又は J-DESC へのご要望・コメント等